

宗像市「赤間西コミュニティ運営協議会」 視察研修を終えて

「玖珠地区コミュニティ運営協議会」が設立して今年で10年を迎えました。運営協議会設立前後より先進地である宗像市へ幾度となく伺い、コミュニティ組織の概要や自治会館の施設構造などを参考にして、現在の玖珠地区コミュニティの礎として学び参考にしてきました。

今回は、コミュニティの礎を学び参考にしてきた宗像市のコミュニティが、その後どのように歴史を重ねてきているのか又、現在および将来のコミュニティ活動の課題、今後の方向性・新しい取り組み等について学ぶため12月9日「赤間西コミュニティ・センター」へ、役員・女性部合同視察研修会を行いました。研修会に先立ち施設内

の各部屋を案内して頂きその後「宗像市のコミュニティづくり」と「赤間西地区コミュニティ運営協議会」の概要（組織・目的・施設・資金）及び事業（協議会・各部会・自治会・自主防犯等）についての説明を受けました。

質疑応答では、役員選考について協議会組織体系は類似しているが、「役員選考委員は地区住民の中から選出」として、私どもの選出方法と異なっている。また、協議会活動及び各部会活動の改善等を図る目的で、自らの活動を評価する「評価委員会」を設置していることや人材育成の取り組みについては、積極的に協議会や各部会活動への参加は出来ないが、「できる人が、出来

るときに、出来ることをやる」をスローガンとして、賛同できる方々を組織化として活動しています。

今後、この研修を活かして、コミュニティ役員や協議会活動に携わって頂いた地域の方々が「やってよかったね、楽しかったね、勉強になったね」と言って次世代に引き継がれる組織にしていきたいものです。



「赤間西コミュニティ」の説明を受ける参加者

立命館アジア太平洋大学 「学生との交流会」 玖珠地区人権協

2012年に玖珠町と友好交流協定を締結している立命館アジア太平洋大学【90ヶ国・地域からの国際学生（留学生）と国内学生が約半分（50.3%）の割合で在籍】の学生との「交流会」を12月13日20名の参加者で行いました。

主催者を代表して玖珠地区人権教育・啓発推進協議会小田原利美会長より「コミュニティ運営協議会」組織の説明や、本日の研修目的である人権については、外国人という理由や言語、宗教、文化、習慣などの違いから困ったことなどを伺う機会にしたいと挨拶。ハンさん（ベトナム）・ウエンディさん（ミトナム）・ケビさん（インドネシア）3人の大学生が流暢な日本語で自己紹介して交流会をスタート。



大学生3人（写真右上）の自己紹介を聞く参加者

交流会では、私どもの質問に対して学生さんに答えて頂く形で進行して、「将来の夢や目標」・「日本で不自由なこと」・「コミュニケーションをとる時に気を付けていること」など参加者からの様々な質問に対して、丁寧に答えて頂きました。今回の交流の縁で次へのステップとなり、色々な形で継続できればと思います。